

1. 指定管理者名	社会福祉法人多治見市社会福祉協議会
2. 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
3. 業務の範囲	①サンホーム滝呂の事業の実施に関する業務 ②目的外使用許可にかかる事務 ③サンホーム滝呂の使用許可業務 ④サンホーム滝呂の維持管理に関する業務 ⑤管理運営業務 ⑥サンホーム滝呂の管理運営に必要な業務

4. 採点表		評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	-	平均値比(注) 105%以上：5点、105%未満～95%：4点、95%未満～85%：3点、85%未満：2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値 目標値比とは、指定管理者が指定管理全期間分を指定管理者候補団体選定及び評価委員会に諮り、決定した値を実績値で割って求めた率をいう。 平均値比(●●%)=利用率(●●%)÷上記(1)、(2)又は(3) 目標値比(●●%)=利用率(●●%)÷目標値						
		②利用人数	10	平均値比(注) 105%以上：5点、105%未満～95%：4点、95%未満～85%：3点、85%未満：2～0点 上記得点の2倍とする	【施設管理】 ①部屋使用 (R7) 0人÷(R3～R6平均) 0人 = 0.00% ②児童センター (R7) 9,848人÷(R3～R6平均)10,166人 = 96.9% ③老人福祉センター (R7) 6,148人÷(R3～R6平均) 7,754人 = 79.3% ④その他使用 (R7) 620人÷(R3～R6平均) 374人 =165.7% 【全体】 (R7) 16,616人÷(R3～R6平均)18,294人 = 90.8% 平均値比(●●%)=利用人数(延べ●●人)÷上記(1)、(2)又は(3)	95%未満～85% 3点	【施設管理】 施設全体の5か年の平均は17,958人で、令和7年度は1,342人少なくなっている。新しい住宅団地から距離があり、徒歩で訪問する高齢者も年々歳を重ねており、常連利用者も要支援・要介護認定申請を受けるように人口構成による影響が少なからずある。 【老人福祉センター】 令和7年度は、利用者6,148人と前年と比べると8割程度に留まった。原因としては、常連利用者の高齢化によることが大きく、老人福祉センターから同建物のデイサービスセンターへ場所を移行したという方がいる。参加者にとって、魅力ある講座・教室を準備するなどの工夫が見られる。 【児童センター】 令和6年度(11,605人)に比べて令和7年度(9,848人)は利用者減少(－1,757人)。前年比84.9%。	6点				
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況（仕様書内）(15点)	15	仕様書以上：15～12点、仕様書に忠実：11～9点、仕様書の一部不実施（軽微）：8～7点、仕様書の一部不実施（中程度）：6～3点、それ以下：2～0点 【老人福祉センター】 ・いきがいつくり、教養講座運営事業及び自立生活維持支援事業では、昨年度と比べ受講者が減少していることに加え、開催会場の収容キャパの問題もある中、仕様を上回る回数を実施した。 ・多世代交流事業及び地域交流事業では、複合施設の利点を生かすとともに地域福祉協議会や地域のサロンと連携して、季節行事やイベントを仕様に定められた回数または、仕様を上回る回数を開催した。 別紙「事業評価表」のとおり。12点 【児童センター】 別紙「事業評価表」のとおり。13.2点	仕様書以上 13点	【老人福祉センター】 仕様書の内容を上回る内容の多世代交流事業、季節行事を実施した。七夕笹飾りでは約200名もの参加延べ数で増加となっているものの、他の事業によっては大きく数を減らした作品展があるなど、そのカウント方法に難しさがある。参加数の比較はひとつの指標にはなるが、事業そのものが地域に及ぼす郷土への愛着を育む力や多世代交流の機会という人間関係の構築等、種々工夫された行事であるので、評価ができる。 【児童センター】 ①乳幼児クラブでは、利用者ニーズに合わせた事業内容を工夫し、2歳対象クラブでは参加者が増加した。アンケート結果からも良い評価が得られている。 ②多世代交流事業では、地域と連携したイベントや、社協指定管理施設5館合同による新規企画「わんさか祭り」を実施し、児童館の周知を行うとともに、子どもたちの活躍の場所を創出した。	13点					
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上：15～12点、内容・事業数等が例年通り：11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る：8～7点、内容・事業数等が例年より劣る：6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点 【老人福祉センター】 ・教室や交流事業で準備や片付けのボランティアとして様々な形で活躍している。また、生活や健康に関する個別の相談に応じたり、包括支援センター等の関係機関と連携を図った。 別紙「事業評価表」のとおり。12点 【児童センター】 ・工作や季節行事には多くの児童が参加し、児童センターのPRにもなっている。学校からやや距離がある場所に位置しているが、登下校のトラブル時に児童館に駆け込んできたり、帰宅後の児童の居場所となっていたり、と児童センターが地域で果たしている役割は大きいと感じている。 ・乳幼児の季節行事に児童がボランティアとして参加したことは、児童にとっては新鮮な体験となり、乳幼児親子にとっては子どもの育ちの見通しが持てる良い機会となった。 別紙「事業評価表」のとおり。13.0点	期待以上 13点	【老人福祉センター】 社会福祉協議会の強みは地域福祉に根差した活動を行うことと考える。人と人との結びつきへの一助を果たす。教室やサークル活動を通じて、お互いの健康状況を把握し、声を掛け合う。そのような人間関係の構築を行う契機となる事業を継続的に実施することが最重要であるが、そのノウハウを地域に還元し、地域の方々が同様な活動をすることで広がりを持たすことができる。教室からサークルへ形を移行したことは評価できる。 【児童センター】 ①複合館である強みを生かし、老人センターやデイサービスとの交流事業を実施した。 ②「なないろひろば」事業では、子どもの発達に沿った遊びを提供し、子育てに不安のある親子の居場所づくりに貢献した。	13点							

2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の 実施状況 (10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3 段階評価する (適正(普通):2点、一部不備 あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正 (普通):6点、一部不備あり:4点、 不備あり2点	定期清掃を業者委託により以下のとおり実施 ・通常清掃(毎日)・床(年2回)・沈殿槽(年2回)・硝子(年2回)・貯水槽(年1回)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②保守・点検			業務委託や自己点検により以下のとおり実施 ・空調設備(年2回)・ボイラー(年1回)・消防用設備(年2回)・エレベーター(月1回) ・トイレ警報(年2回)・地下重油タンク(年1回)・自動ドア(年2回)・電気設備(年6回) ・水質検査(年1回)・害虫駆除(年2回)・遊具器具安全点検(年3回)・AED点検(月1回) ・水道メーター点検(週1回)・重油漏洩点検(週1回)・自家発電点検	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③保安・警備			夜間機械警備(毎日)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④小規模修繕			【施設管理】 ①1階男子トイレ洋便器修繕 ②水飲器止水 ③ウォータークーラー修理 ④ボイラー着火不良緊急処置 *①～④は、仕様書の定めにより指定管理者の負担で修繕 ⑤施設アプローチ舗装改修工事 ⑥男子トイレセンサー修繕 *⑤⑥は多治見市による修繕 【老人福祉センター・児童センター】 修繕箇所なし	適正(普通) 2点	建設から30年が経過し、施設全体が老朽化している。令和7年度においてはエレ ベーター設備の大規模修繕を実施した。今年度も雨漏り修繕の他、高圧ケーブル等 の取替工事を予定している。このような状況下においても施設として安全に来館者 を迎え、地域福祉活動施設拠点としての役割を果たしていると認められる。	
			⑤危険箇所の把握(施設 の瑕疵)			建物遊具安全チェック(R7.6.24 12.16 R7.3.10)実施。目視チェックは毎日実施。利用者 に危険が及ぶような危険箇所はなし。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
	(2)その他管理業務 の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4 段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2 点、一部不備あり:1点、不備あり: 0点) ②5項目の合計点とする。	市の文書管理方法(ファイリングシステム)に準じ適正に管理	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点	
		②環境への配慮			・市の環境方針に準じて対応。省エネを念頭に市のエネルギー使用量調査に対応 ・年に6回、全職員が輪番で施設周辺の清掃を始業時間前後に実施 ・その他、業務時間内外の節電の徹底、一部書類の電子化による紙の使用量削減、資源ごみリサイ クルの実施、裏紙使用の徹底、葦簀による日除けや打ち水などの暑さ対策による光熱費の削減 ・ハチやムカデ、蛇の発生時等危険を発見した時は掲示物や声かけ等により注意喚起。安全に施設 を利用できるように、危険箇所を発見した時は迅速に対応 ・配管の詰まりと滑り防止のため、高圧洗浄作業を実施 ・雨漏り防止のため、屋上集水桝の清掃を実施 ・監視カメラによる保安強化を実施 ・水道は1週間ごとに使用量を比較管理 *上記の取り組みと朝礼での周知により、職員の意識向上に務めた。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		③バリアフリー			・施設内のバリアフリー化。障がい者用トイレ、洋式トイレ、手すり、自動ドア、エレベ ーター、身障者用駐車場の設置 ・車椅子利用者、視覚障がい者等の通行の支障にならないよう備品等を配置 ・認知症の高齢者の方が迷わないようにトイレ、玄関等を館内に表示	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		④備品管理			毎年、現物を確認し、備品台帳を修正して管理	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		⑤個人情報保護			多治見市社会福祉協議会の「個人情報保護管理規程」により個人情報記載書類は鍵のかかる キャビネットに適正に管理	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事 故なし及び事故等の対応に不備なし: 0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故の発生なし	事故なし・対応 に不備なし 0点	事故等は無かった。	0点	
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以 上:5点、105%未満～100%:4点、 100%未満:3点	【事業収支】 39,276,252円÷36,977,922円×100=106% ＜参考＞ 【施設】 22,493,772円÷21,464,415円×100=105% 【老人】 5,858,650円÷5,207,269円×100=113% 【児童】 10,923,830円÷10,306,238円×100=106%	105%以上 5点	【事業収支】 事業収支は、サンホーム滝呂の単体施設のみに目を向けることは難しい。多治見 市社会福祉協議会の全体の中で考える必要がある。誰が老人センターの、誰が児 童センターの担当となるのかで大きく金額が変わってしまう。総合福祉センター、サ ンホーム滝呂、ふれあいセンター姫の3施設は、多治見市内の福祉拠点となってい る責任を負うため、人件費が平均に比べると高めになることが想定。	5点	

4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上：10～8点、適正（普通）：7～5点、不備あり：4～1点	【施設管理】 ・アンケートボックスを常設し、随時意見を受け付け、意見があれば回答し公表している。 【老人福祉センター・児童センター】 ・老人センターは教室アンケート(9月)を実施。行事の折に満足度やご希望を聞きニーズ把握を行っている。 ・児童センター各クラブ終了時アンケート(9月・2月)・児童センター「児童館まつり」アンケート(8月・3月)を実施している。 ・アンケート結果を受け、来館者の要望に沿った運営が出来るように努めた。 ・児童センターの運営委員会(10月)で事業報告とともに、意見聴取を行い、地域の関係者と連携しながら事業を計画した。	期待以上 9点	【施設管理】 アンケートボックスを常設しているが、ヒアリングではほとんど投書はないとのこと。 【老人センター】 利用者と職員との人間関係が築かれているため、意見がある場合は、遠慮なく職員に口頭で話ができる関係がある。これらの意見を参考に教室展開を考えたり、行事への工夫に繋がっている。 【児童センター】 クラブやイベント後のにアンケートを実施する他、日ごろから利用者のお声を聞き、事業に生かすよう努めている。	9点
			②苦情対応	5	期待以上：5点、適正（普通）：4点、不備あり：3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情申し出窓口を設置し、苦情対応責任者・苦情受付担当・第三者委員会を設けている。	期待以上 5点	昨年度は、苦情報告があったとのことだが、令和7年度はそのような事例はなかった。苦情対責任者、苦情受付担当も選任されており、対応は適切である。	5点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント（15点）		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント（アピール）が 期待以上：15～12点、適正（普通）：11～9点、普通未満～物足りない：8～0点	【施設管理】 ・有事に備え、年2回の火災による避難訓練の実施と年1回の土砂災害による垂直避難訓練を実施した。 ・年1回、全職員を対象にAEDの取り扱いを含む普通救命救急講習を実施した。 ・ボランティアの促進としてボランティア情報を掲示したり、ベルマーク・古切手の募集を呼びかけたりすることで多くの方に協力していただいた。 ・感染症予防の為、年間を通して、適宜室温調整や換気に配慮した。感染症が流行しやすい冬季は、特に手指の消毒やマスクの着用をお願いした。 【老人センター】 ・HPの掲載や毎月発行の機関紙、チラシ等を地域や関係機関に配布し老人福祉センターの周知に努めている。 ・いきがいがづくり、教養講座運営事業、自立生活維持支援事業にて、2月に受講募集し、定員に満たない講座は随時追加募集をして充足率のアップを図った。 【児童センター】 ・地域団体と連携し、各団体の活動内容を交流しながら互いに協力して事業を実施することができた。地域との情報交換を大切にし、意見を児童センター事業実施に反映させた。 ・HP・SNSでの発信や保育園・幼稚園・小学校宛に毎月1回児童センターのおたよりの配布を通して、事業への参加を呼びかけた。また、降園後や下校後の来館者の確保の為に児童センターの周知に努めた。	期待以上 14点	【施設管理】 土砂災害による垂直避難訓練は、サンホーム滝呂は地形上、谷合にあり、大雨により笠原川の増水とともに浸水被害を受ける可能性があり、これを想定した訓練の実施は意味がある。 【老人福祉センター】 老人福祉センターの来館者の傾向は、回覧板から情報を得ている方が多いとのこと。高年齢層をターゲットにしているため、インターネットやホームページでの応募も大事かもしれないが、オーソドックスな方法に効果がある。また友人同士で連れ合ってくる場合もあるとのこと。効果的な方法を模索して来館者数のさらなる獲得につなげたい。 【児童センター】 地域団体や学校と連携して、事業の実施や児童センターの周知を行った。	14点
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする（遅れ・不備内容の程度により△1～△3点） 一部遅れ・不備あり(軽微)：△1、一部遅れ・不備あり(中程度)：△2、一部遅れ・不備あり(それ以下)：△3	提出書類遅れなし	遅れ・不備なし 減点なし	提出書類の遅れや不備は見受けられない。	0点	
		(2)市からの指示等への対応（報告書類の提出以外）等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする（対応等の内容により△1～△3点） 指示等なし・対応等が期待どおり：減点なし、対応等が期待以下(軽微)：△1、対応等が期待以下(中程度)：△2、対応等が期待以下(それ以下)：△3	指示等なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	指示等はなかった。	0点	
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計85点
						平成8年にサンホームは設置された。年月を重ね、雨漏りやボイラーの不調など、設備の維持に努力されることも多くある。そのような状況で利用者の皆様に喜んで使っていただく工夫をしていることが評価できる。			極めて良好

5. 来年度の管理運営(事業執行)に対する指示事項等、評価委員会において出された意見	